



## 地域と大学がつながるサテライトってどんなところ？

第5回 岸和田サテライトと友の会との取り組み その2

西田 喜一

友の会の活動が「防災」を軸に進むにつれ、友の会の活動に参画する人も少しずつ増えてきました。正確に言えば、友の会のメンバーが、学部開放授業や大学院授業を通じて、新たな受講者に声をかけ、少しずつ多様な仲間を増やしてきたのです。友の会の活動は、メンバーの多様性によってその幅を広げてきています。

その代表的な活動として、「GIS 活用プログラム」(2016年～)があります。このプログラムは、学部開放授業「地図で地域を見る・発信する」の受講をきっかけに、GIS(地理情報システム)の活用や市民の手による地図作り(OpenStreetMapの編集)など、地図をツールとした地域活動を目的にスタートしました。学部開放授業「データで地域を考える」において、行政が持つ情報を市民の手によって公開・活用(集めたデータを使ったアプリケーション制作など)していく「オープンデータ」の取り組みについても学びました。

また、岸和田サテライト10周年記念事業として、友の会の中で有志を募り「マッピング実行委員会」を立ち上げ、大阪府立岸和田高等学校の生徒たちとともにまち歩きを実施し、地域のことについて知り、情報を自らの手で集めて地図上に表現することを学びました。

これら一連の活動は、地域の人たちをはじめ、授業を担当した教員や高校の先生方に協力していただきました。また、2017年から友の会有志や大学生、地域の人たちで構成される自主学習活動グループ「泉州らへんでオープンデータとGISを楽しむ会」が立ち上がりました。

月1回のマッピングパーティを通じた地図作り(OpenStreetMapの編集)、地域の情報収集や情報活用(オープンデータ)など、毎月メンバーでテーマを考え、楽しみながら、活動が地域にとっても役立つものになるといいなと思い活動しています。

活動がスタートして1年に満たないですが、すでにいくつかコラボ活動もしています。例えば、岸和田市内で子育て支援をしているNPO法人との共同で、「乳幼児連れのおでかけマップ」を作成する活動に参加しています。子育て中のお母さんたちを中心として、どんなマップを望んでいるのか、それに対して私たちはどのように応えられるのか話し合いが進んでいます。

このように、岸和田サテライトでの学びが、一人ひとりの活動の幅を広げています。

くにしだ・よしかず / 和歌山大学 岸和田サテライト  
地域連携コーディネーター >

第100回記念 わだい浪切サロンスペシャル

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

◆ 第1部 13:30～14:50

「データのチカラで子育てが  
楽しくなるまちづくり」

話題提供者：満田 成紀 (システム工学部 准教授)  
長谷川 秀美さん (NPO 法人ここから Kit)

◆ 第2部 15:05～16:35

「紀伊半島と西国順礼  
一縁起・旅・書物」

話題提供者：大橋 直義 (教育学部 准教授)

日時

2018年 3月 21日 祝 13:30～16:35

(開場：12:30)

場所

岸和田市立浪切ホール 4階 特別会議室

◆ プログラミング体験教室も開催します。詳細は、岸和田サテライトのホームページをご覧ください。

わだい浪切サロンとは？

毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライト 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール 2F

TEL & FAX：072-433-0875

岸和田サテライト

検索